

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公表番号】特表 2003-511987(P2003-511987A)  
 【公表日】平成 15 年 3 月 25 日 (2003.3.25)  
 【出願番号】特願 2001-530304(P2001-530304)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 M 1/00 (2006.01)**

**H 0 4 M 11/08 (2006.01)**

**G 1 0 L 19/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 M 1/00 U

H 0 4 M 11/08

G 1 0 L 9/18 M

G 1 0 L 9/18 H

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 9 月 19 日 (2007.9.19)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 つの音響再生ユニット ( 1 0 ) に接続されたセルラ電話機 ( 2 ) によりオーディオ信号をプレーバックする方法であって、

・ デジタル化されたオーディオ・ファイルをポータブル・ストレージ媒体 ( 7 ) へ転送するステップと、

・ プラグ・イン・アクセサリ装置 ( 8 ) を前記セルラ電話機 ( 2 ) に接続するステップと、

・ 前記アクセサリ装置 ( 8 ) へ前記ポータブル・ストレージ媒体 ( 7 ) を挿入するステップと、

・ 前記アクセサリ装置 ( 8 ) において、前記デジタル化されたオーディオ・ファイルを処理するステップと、

・ 可聴信号として前記処理したオーディオ・ファイルを前記音響再生ユニット ( 1 0 ) を介してプレーバックするステップと、

・ 電話呼び出し中は前記オーディオ・ファイルからプレーバックされる可聴信号の音圧レベルを低下させて、通話に対応するオーディオ信号を前記音響再生ユニット ( 1 0 ) により再生するステップと

を有し、

・ 前記デジタル化されたオーディオ信号を圧縮フォーマットで前記インターネット ( 1 2 ) からコンピュータへダウンロードするステップと、

・ 前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを前記コンピュータ ( 3 ) から前記ポータブル・ストレージ媒体 ( 7 ) へ転送するステップと、

・ 前記アクセサリ装置 ( 8 ) において、前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを伸張するステップと

を更に有することを特徴とする方法。

【請求項 2】 前記セルラ電話機 ( 2 ) は、G S M 電話機であることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルは、M P 3 フォーマットで圧縮されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】 前記ポータブル・ストレージ媒体は、マルチ・メディア・カード (M M C) であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】 少なくとも 1 つの音響再生ユニット (10) に接続されたセルラ電話機 (2) によりオーディオ信号をプレーバックする方法であって、

- ・デジタル化されたオーディオ・ファイルをポータブル・ストレージ媒体 (7) へ転送するステップと、

- ・前記セルラ電話機 (2) にプラグ・イン・アクセサリ装置 (8) を接続するステップと、

- ・前記アクセサリ装置 (8) に前記ポータブル・ストレージ媒体 (7) を挿入するステップと、

- ・前記アクセサリ装置 (8) において、前記デジタル化されたオーディオ・ファイル进行处理するステップと、

- ・可聴信号として前記処理したオーディオ・ファイルを前記音響再生ユニット (10) を介してプレーバックするステップと、

- ・電話呼び出し中は前記オーディオ・ファイルからプレーバックされる可聴信号の音圧レベルを低下させて、通話に対応するオーディオ信号を前記音響再生ユニット (10) により再生するステップと

を有し、

- ・コンピュータ (3) において、前記デジタル化されたオーディオ・ファイルを圧縮フォーマットで生成するステップと、

- ・前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを前記コンピュータ (3) から前記ポータブル・ストレージ媒体 (7) へ転送するステップと、

- ・前記アクセサリ装置 (8) において、前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを伸張するステップと

を更に有することを特徴とする方法。

【請求項 6】 前記コンピュータ (3) において、前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを生成するステップは、

- ・オーディオ C D (4) から C D フォーマットにあるオーディオ信号を読み出すステップと、

- ・前記コンピュータ (3) において前記オーディオ信号を C D フォーマットから圧縮フォーマットへ変換するステップと

を含むことを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】 前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルは、M P 3 フォーマットで圧縮されていることを特徴とする請求項 5 又は 6 記載の方法。

【請求項 8】 前記ポータブル・ストレージ媒体 (7) は、マルチ・メディア・カード (M M C) であることを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】 オーディオ信号のプレーバック・システムであって、

- ・ポータブル・ストレージ媒体 (7) と、

- ・デジタル化されたオーディオ・ファイルを前記ポータブル・ストレージ媒体 (7) へ転送する手段と、

- ・少なくとも 1 つの音響再生ユニット (10) に接続されたセルラ電話機 (2) と、

- ・前記セルラ電話機 (2) に接続されたプラグ・イン・アクセサリ装置 (8) とを備え、前記プラグ・イン・アクセサリ装置 (8) は、

- ・前記ポータブル・ストレージ媒体 (7) を挿入する手段と、

- ・前記デジタル化されたオーディオ・ファイル进行处理する手段と、

- ・可聴信号として前記処理したオーディオ・ファイルを前記音響再生ユニット (10) を介してプレーバックする手段と、

- ・電話呼び出し中は前記オーディオ・ファイルからプレーバックされる前記可聴信号の

音圧レベルを低下させて、通話に対応するオーディオ信号を前記音響再生ユニット（１０）を介して再生する手段と

を備え、

前記プレーバック・システムは、

- ・前記デジタル化されたオーディオ・ファイルを圧縮フォーマットにより前記インターネット（１２）からコンピュータ（３）へダウンロードする手段と、
- ・前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを前記コンピュータから前記ポータブル・ストレージ媒体（７）へ転送する手段と、
- ・前記プラグ・イン・アクセサリ装置（８）において、前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを伸張する手段と

を更に備えることを特徴とするプレーバック・システム。

【請求項１０】 オーディオ信号のプレーバック・システムであって、

- ・ポータブル・ストレージ媒体（７）と、
- ・デジタル化されたオーディオ・ファイルを前記ポータブル・ストレージ媒体（７）へ転送する手段と、

- ・少なくとも１つの音響再生ユニット（１０）に接続されたセルラ電話機（２）と、

- ・前記セルラ電話機（２）に接続されたプラグ・イン・アクセサリ装置（８）とを備え、前記プラグ・イン・アクセサリ装置（８）は、

- ・前記ポータブル・ストレージ媒体（７）を挿入する手段と、

- ・前記デジタル化されたオーディオ・ファイル进行处理する手段と、

- ・可聴信号として前記処理したオーディオ・ファイルを前記音響再生ユニット（１０）を介してプレーバックする手段と、

- ・電話呼び出し中は前記オーディオ・ファイルからプレーバックされる可聴信号の音圧レベルを低下させて、通話に対応するオーディオ信号を前記音響再生ユニット（１０）を介して再生する手段と

を備え、

前記プレーバック・システムは、

- ・コンピュータ（３）において、前記デジタル化されたオーディオ・ファイルを圧縮フォーマットで生成する手段と、

- ・前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを前記コンピュータ（３）から前記ポータブル・ストレージ媒体（７）へ転送する手段と、

- ・前記プラグ・イン・アクセサリ装置（８）において、前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを伸張する手段と、

を更に備えることを特徴とするプレーバック・システム。

【請求項１１】 オーディオ信号をプレーバックする少なくとも１つの音響再生ユニット（１０）に接続されたセルラ電話機（２）に関連して使用するプラグ・イン・アクセサリ装置（８）であって、

- ・デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを記憶しているポータブル・ストレージ媒体（７）を挿入する手段と、

- ・前記デジタル化され圧縮されたオーディオ・ファイルを伸張する手段と、

- ・可聴信号として前記伸張したオーディオ・ファイルを前記音響再生ユニット（１０）を介してプレーバックする手段と、

- ・電話呼び出し中は前記オーディオ・ファイルからプレーバックされる前記可聴信号の音圧レベルを低下させて、通話に対応するオーディオ信号を前記音響再生ユニット（１０）を介して再生する手段と

を備え、

更に、圧縮フォーマットにある前記デジタル化されたオーディオ・ファイルを伸張する手段を備えることを特徴とするプラグ・イン・アクセサリ装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

更に、今日では、デジタル化した音声信号を著しく圧縮する異なる複数方法が既知であり、このような状況により、更にサイズが限定された、メモリ・カードのようなポータブル・ストレージ媒体がかなりの量の音声情報を記憶することが可能になった。従って、更に、このようなストレージ媒体用のポータブル・プレーバック装置も利用可能になった。例えば、MP3フォーマットによる音声ファイル用のポータブル・プレーバック装置を挙げることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、これらの装置は、専ら音声情報をプレーバックするために使用するように設計されている。多くの利用者は、これらの装置によっては達成し得ない他の複数の機能を必要としており、このためにこれら利用者は、その必要性を充足させるために付加的な装置を携帯しなければならない。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

更に、WO99/03294により、電話機がアクティブのときは通話にヘッドセットを使用するように、また電話機がアクティブでないときはオーディオ装置に切り換えるように、無線電話機とオーディオ装置との間で共通のヘッドセットを共有することも知られている。アクセサリ装置及び電話機は、単一の装置として共通のハウジングを共有でき、個別的な2装置を別個に持ち歩くより容易かつ軽快である。しかしながら、オーディオ装置は、公衆音声放送プログラム用の受信機であるか、又はコンパクト・ディスク・プレーヤ若しくはカセット・プレーヤである。従って、この装置は、以上で説明したような圧縮したデジタル化オーディオ・ファイルをプレーバックする可能性を提供するものではない。

WO99/43136は、セルラ電話機に、又はこのような電話機に接続されたプラグ・イン・アクセサリ装置にエンタテインメント・モジュールを統合したシステムを開示する。このエンタテインメント・モジュールは、電話機に接続されたヘッドセットによりプレーバックする音楽又は他のオーディオ信号を記憶しているメモリを有する。このメモリは、着脱可能なROMカートリッジ及び/又は拡張RAMの形式であってもよい。しかしながら、この装置は、圧縮形式にあるオーディオ・ファイルを使用しておらず、ドキュメントは、オーディオ・ファイルの転送に関する詳細をメモリに提供しない。

WO99/28897は、後にプレーバックするために（例えば、テキスト・フォーマットに）選択的に読み出し、オーディオ・フォーマットにある情報をポータブル・オーディオ装置（例えば、オーディオ・カセット・テープ又はミニ・ディスク）に記憶するコンピュータ化オーディオ・システムを開示している。記憶している情報は、記憶デジタル化し、かつ圧縮したフォーマットであってもよい。このドキュメントは、オーディオ・ファイルをセルラ電話機で使用するポータブル・ストレージ媒体へ転送する容易な方法を示していない。

プレス・リリース「サンディスク（Sandisk）は、インターネット音楽プレーヤ

に使用する 32 Mb のマルチ・メディア・カードを有するメイコム (Maycom) を供給」(マルチ・メディア・カード・アソシエーション)には、音楽を記憶するマルチ・メディア・カードの使用が言及されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

従って、本発明の目的は、セルラ電話機を使用してオーディオ信号をプレーバックする方法であって、利用者がさらに別の装置を持ち歩く必要なしに、圧縮したデジタル化オーディオ・ファイルからのオーディオ信号を聞いたり、セルラ電話機を使用することができるようにすると共に、オーディオ・ファイルを容易に作成することができる方法を提供することである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

この図には、セルラ電話機 2 の下端でプラグ・イン装置 8 で構成されるアクセサリ装置が直接的にセルラ電話機 2 へ接続されているのが示されている。ヘッドセット 10 で構成される音響再生ユニットがアクセサリ装置 8 に接続されているが、セルラ電話機 2 に直接接続されたものでもよい。更に、装置 8 は、メモリ・カード即ちマルチ・メディア・カード (R) 7 で構成されるポータブル・ストレージ媒体を挿入するためのスロットを備えており、この媒体上には、例えば MP3 フォーマットによりデジタル化し、かつ圧縮したオーディオ・ファイルが記憶される。アクセサリ装置 8 は、圧縮したオーディオ・ファイルを伸張即ち復号して、その結果のオーディオ信号をヘッドセット 10 によりプレーバックするようにされている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

この図は、更に、圧縮したオーディオ・ファイルをカード 7 に格納する方法を示している。圧縮したオーディオ・ファイルのサービス・プロバイダに属する専用のサーバ 13 は、インターネット 12 に接続されており、かつオーディオの内容は、インターネットから合理的な速度のワイヤド・リンクを介してパーソナル・コンピュータ 3 へダウンロードされる。これは、パーソナル・コンピュータのスクリーン上で通常のドラッグ・ドロップ操作を使用することにより、コンピュータ 3 からアダプタ 6 を介してカード 7 へ転送される。その代替として、この内容は、自動的にネットワークからカードへ転送されてもよい。パーソナル・コンピュータは、通常のもデム又は高速イーサネット (登録商標) ・ラインを介してインターネットへ接続されている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

アダプタ 6 は、市場にある任意の MMC ( R ) アダプタであって、これは、 RS - 2 3 2 ポート、ディスケット・ポート、PC カード・ポート、パラレルポート又は USB ポートを介してパーソナル・コンピュータに接続可能とされる。